

● ラップポン・トレッカー WT-4 (S)

品番	WT4SE102JH
JANコード	4589922490756
価格	172,000円(税別) 189,200円(税込)
材質	本体・脚…アルミニウム合金 便座…PP
電源	AC100V、50・60Hz(ACアダプター) 又は DC14.4V(専用バッテリー) 又は DC12V(車用DCケーブル) ※電源選択スイッチにより切り替え
消費電力	最大75W
寸法(mm)	使用時:幅390、奥行き460、高さ400 収納時:幅390、奥行き460、高さ270
質量	本体:約12kg 梱包時:約16kg
耐荷重	150kg
梱包サイズ(mm)	幅470、奥行き580、高さ350



● ラップポン専用消耗品

品名	専用凝固剤カタメルポリマー
品番	C0COP001J
JANコード	4589922490220
価格	1,500円(税別) 1,650円(税込)
材質	高吸水性樹脂(1箱425g、50袋入り)



品名	フィルムロール
品番	C0F150C1J
JANコード	4589922490213
価格	4,000円(税別) 4,400円(税込)
材質	ポリエチレン(約50回分)



品名	ウェットティッシュ
品番	C0WT0002J
JANコード	4589922490077
価格	550円(税別) 605円(税込)
材質	ノンアルコール・無香料(1袋・100枚入り)

※ラップポンの使用には必ず消耗品が必要となります。

● 専用消耗品セット Bタイプ

品番	COSEWS05J
JANコード	4589922490282
価格	6,050円(税別) 6,655円(税込)
セット内容	専用凝固剤カタメルポリマー フィルムロール ウェットティッシュ
梱包サイズ(mm)	幅345、奥行き230、高さ130 ※1箱に2セットまで梱包可能



● ワンタッチテント WPT-01

品番	WTWT0001JH
JANコード	4589922491258
価格	34,000円(税別) 37,400円(税込)
材質	ポリエステル 裏側:ポリウレタンシルバーコーティング
寸法(mm)	組立時:約幅1250、奥行き1250、高さ1850 収納時:約幅610、奥行き610、高さ60
質量	本体:約2.5kg 梱包時:約3kg
耐水圧	29,000mm(JIS1092B法:高水圧法)
遮光率	100%:完全遮光(JISL1055A法)
紫外線遮蔽	99.9%(JISL1925法)



 日本セイフティー株式会社

ラップポン事業部

〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F
e-mail:wrappon@nihonsafety.com URL:https://wrappon.com

●掲載商品について 掲載内容は、2025年5月現在のものです。製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。

WT4(S)-2505-07

組立てトランク型自動ラップ式トイレ

ラップポン・トレッカー WT-4 (S)



 日本セイフティー株式会社

多くの災害現場での経験と
発売から10年以上のノウハウで
災害用トイレ最高の一台へ

2005年のラップポンシリーズ発売から多くの災害を経験し、被災地での声を活かして改良を重ね、益々使いやすい商品になりました。

近年、耳にすることが多くなった「災害関連死」。

災害関連死とは、災害による直接的な被害でなく、避難生活の疲労や環境の悪化等、間接的な原因で亡くなることを言います。

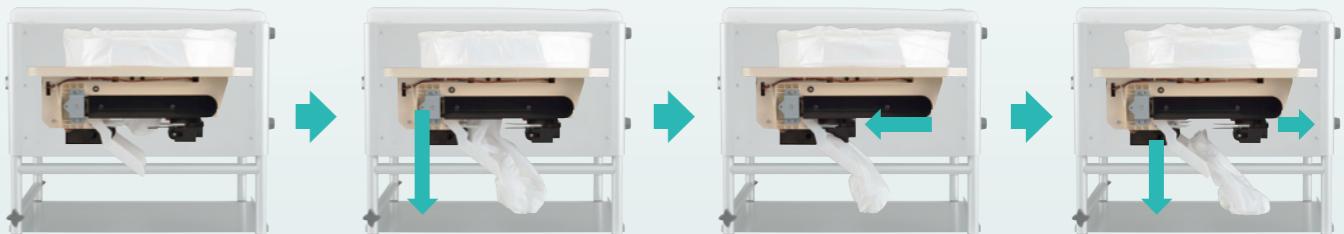
災害関連死を防ぐためにも、トイレは重要なキーワードです。水や食料よりも我慢できないのがトイレです。水が流れなくなった不衛生なトイレでも、我慢できなくなれば使用してしまいます。不衛生なトイレを使用したくないために、食事や水分補給を控え、「エコノミークラス症候群」を発症し、死に至ることもあります。

トイレを我慢する必要のない環境を作ることは、関連死の防止にとって非常に重要になります。



自動ラップ機構って？

自動ラップ機構は水を使わず、熱圧着によって排泄物を1回毎に密封します。
毎回、個包装にして切り離すので、清潔にご使用いただけます。また、排泄物は個包装になっているので、後処理の手間もなく、お手入れも簡単です。



處理開始

排泄後、作動ボタンを押すと自動ラップ処理が開始されます。

フィルム送り

排泄で飛び散った汚れ部分も
全てフィルムが送られて閉じ
込めます。

熱圧着

排泄物を密封するため熱圧着します。

切り離し

「ピッピッピッパー」と終了音が流れると切り離されて完了です。

ラップポンだからできる 安心の10機能

1 臭いや菌を漏らさない防臭フィルム

特殊な防臭フィルム(BOS)と熱圧着により臭いや菌を外に漏らしません。^{*1}
また、ラップすることで汚物や吐しゃ物による二次感染を予防します。^{*2}
防臭フィルムはポリエチレン素材のため焼却しても有害なガスは発生しません。

ラップされた袋は紙オムツと同様の処理が可能です。^{*3}



*1 ラップ済み袋は、長期保存すると臭いが漏れる場合もございますので、早めの処分をお願いします。
*2 ラップポンは感染を完全に防ぐものではありません。
*3 自治体の判断によって処理方法が異なる場合もございますので、各自治体の指導に従い処理してください。

2 お知らせ音付き

電源投入時と処理終了時に「ピッピッピッパー」、エラー時には「ビビビッパー、ビビビッパー、ビビビッパー」と音でお知らせします。リモコンで3段階の音量調節が可能です。

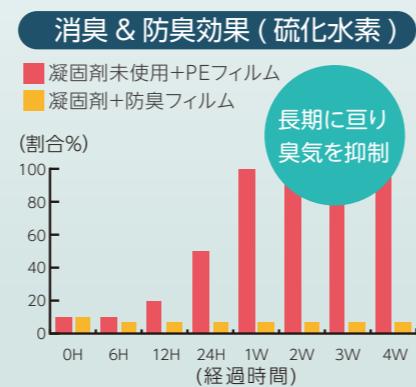
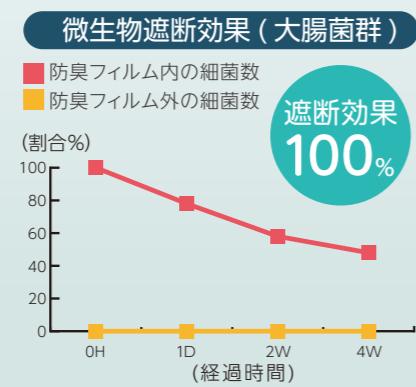
3 緊急時対応可能なオプション品

ラップポンでは、停電などで電源が確保できない場合にも対応できる各種オプション品を取り揃えています。
小型で保存に最適なチウムイオンバッテリーの「ハンディーバッテリー」。
車のシガーソケットに接続して使用する「車用DCケーブル」。どなたでも簡単・安全に接続して使用できる商品を提供しています。



4 特殊フィルムと凝固剤の信頼の試験データ

ラップ済み袋をそれぞれの条件で試験を行い、臭気漏れ・微生物(細菌)の遮断効果を確認しています。
また、ラップポン専用凝固剤を併せて使用することで優れた除菌効果も確認できました。



※当社試験データに基づきます。※試験は袋に損傷がない場合とします。



5 処理時間の目安を表示

リモコンに処理終了までのカウントダウン表示がつき、圧着完了までの目安がわかりやすくなりました。
また、「おす」ボタンが一段とわかりやすくなりました。



6 更にコンパクトで持運びも簡単に

本体は傷が付いてもサビにくくお手入れしやすいアルミニウム合金製。
軽量なので持ち運びも簡単で、災害時にはすぐに設置・使用が可能です。
使わない時にはコンパクトに収納も可能です。



7 省電力モード/電源OFF機能

使用後1分で省エネモードになり、60分以上使用しない場合電源が自動的にOFFになる待機モードを搭載しました。
長時間使用していない際のバッテリー(別売)の消費をさらに軽減できるようになりました。



8 収納ポケット搭載

両脇に収納ポケットが搭載され、バッテリーなどを収納することも可能になりました。

10 安心設計の安全機能付き

フィルムが閉じる時に異物や人間の手等が挟み込まれるのを感じると動作を中断する「挟み込み防止機能」を搭載しています。
※ラップポンは初号機から全ての自動ラップ式の商品に「挟み込み防止機能」を搭載しています。

使い方はとっても簡単



専用凝固剤を入れる
専用凝固剤を投入し、排泄を済ませます。
排泄物の水分を凝固させるために凝固剤を使用します。



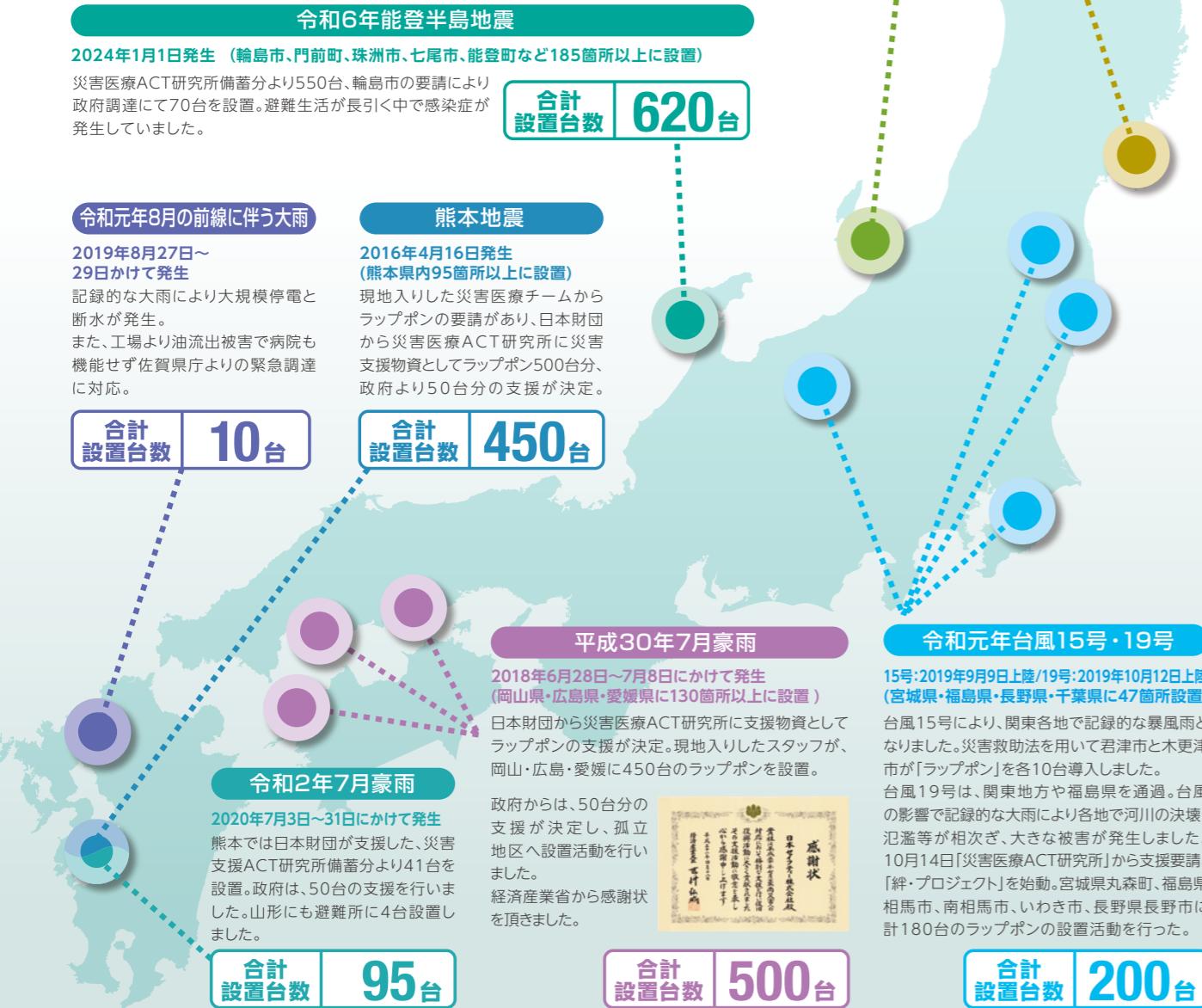
スイッチのボタンを押す
排泄後、スイッチのボタンを押してください。自動でラップを開始します。
防臭フィルムは自動で供給されます。



ラップ済み袋を取り出す
約90秒後、終了音(ピッピッピー)が鳴ると切り離し完了です。
底トレーを引き出し、ラップ済み袋を取り出してください。

広がり続けるラップポン 導入実績

販売実績
シリーズ累計
**5万台
以上**



北海道胆振東部地震

2018年9月6日発生
(厚真町・安平町・平取町20箇所以上に設置)

平成30年7月豪雨の支援活動が終了に向かう頃、北海道の胆振東部地区で大地震が発生。支援活動範囲を北海道にも広げ、災害医療チームや医師と共に、ラップポン設置活動を行いました。

合計設置台数 100台

東日本大震災

2011年3月11日発生 (宮城県50箇所以上に設置)

これまでの被災地支援でトイレ問題を重要課題とし向き合ってきた経験を活かし、自治体や関係機関と連携し迅速に活動を行いました。避難所の高齢者や要援護者を中心に需要の調査を行い、ラップポンを設置。室内で安心して利用できる様、トイレ環境の改善を支援しました。また、医療機関とも情報を共有し、感染症が発生している避難所へも積極的に配置していました。

合計設置台数 500台

能登半島地震

2007年3月25日発生
(輪島市内11箇所に設置)

合計設置台数 50台

中越沖地震

2007年7月16日発生
(刈羽村・柏崎市内30箇所に設置)

合計設置台数 100台

令和6年能登半島地震

2024年1月1日発生 (輪島市、門前町、珠洲市、七尾市、能登町など185箇所以上に設置)

災害医療ACT研究所備蓄分より550台、輪島市の要請により政府調達にて70台を設置。避難生活が長引く中で感染症が発生していました。

合計設置台数 620台

令和元年8月の前線に伴う大雨

2019年8月27日～29日かけて発生

記録的大雨により大規模停電と断水が発生。
また、工場より油流出被害で病院も機能せず佐賀県庁より緊急調達に対応。

合計設置台数 10台

熊本地震

2016年4月16日発生
(熊本県内95箇所以上に設置)

現地入りした災害医療チームからラップポンの要請があり、日本財団から災害医療ACT研究所に災害支援物資としてラップポン500台分、政府より50台分の支援が決定。

合計設置台数 450台

平成30年7月豪雨

2018年6月28日～7月8日にかけて発生
(岡山県・広島県・愛媛県に130箇所以上に設置)

日本財団から災害医療ACT研究所に支援物資としてラップポンの支援が決定。現地入りしたスタッフが、岡山・広島・愛媛に450台のラップポンを設置。

政府からは、50台分の支援が決定し、孤立地区へ設置活動を行いました。
経済産業省から感謝状を頂きました。

合計設置台数 500台

合計設置台数 200台

合計設置台数 95台

ラップポン導入の緊急車両

配管設備等のいらないラップポンはその利便性により多くの緊急車両に採用されています。

東京DMATカー



東京都導入

支援車I型



総務省消防庁導入

野外支援車



防衛省導入

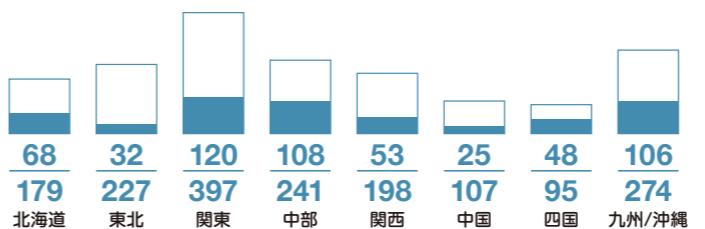
トイレカー



警察庁警視庁導入

災害備蓄 全国導入自治体数

*2024年6月現在



都道府県
市区町村
実績数

560 自治体
1718 自治体

導入実績

*最新情報はホームページをご覧ください

SoftBank

トイレ対策を後処理まで視野にいれて見直した時、数週間に及ぶ排泄物の集積・廃棄、感染症予防の観点から、ラップポンの密封性が効果的であると考えています。災害備蓄は、後処理まで含めた運用と処分方法を視野に入れてアイテムを検討しています。

八十二銀行

平成18年7月豪雨の経験で、一番困ったのが、はっきり言うとトイレなんですよね。下水が流れないでの、水を流せない。したがってトイレで用がたせない。我慢にも限界がありました。トイレが使える所まで、ずぶ濡れになりながらみんなで歩いて行きました。

一般社団法人 神奈川県トラック協会

緊急物資輸送に協力いただく方々の安心と衛生面を考慮してラップポンを導入しました。被災地まで救援物資をトラックで輸送する際、身体的にも精神的にもリラックスしてもらえるように、どのような状況下においても衛生的なトイレを使用できる状況を整えておくことは大切だと思います。

学校法人 学習院 THE GAKUSHUIN SCHOOL CORPORATION

災害時はすぐにゴミの処理ができるかわからないので、排泄物をストックしなければならない、そう考えると密閉できるというのは重要な観点です。

長谷工 コーポレーション HASENO

災害備蓄用トイレに第一に求めることは衛生面です。ラップポンの清潔で手入れが簡単なところが気に入りました。

公益財団法 戸田市文化スポーツ財団

災害後、災害用トイレの衛生面の問題やプライバシーの問題があり、災害用トイレがあるのに使えないという報道を見かけました。生活を通常の状態に戻す・復旧させるにあたり、トイレの衛生面をどう対策するか部署内で話し合いました。衛生面もプライバシーの面でも非常によく造られていると感じた事が導入の一つのきっかけでした。

東京電力株式会社

東日本高速道路株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
富士通株式会社
株式会社東京流通センター

清水建設株式会社

株式会社竹中工務店
東急建設株式会社
株式会社フジテレビジョン
三井不動産レジデンシャル株式会社

株式会社八千代銀行

仙台国際空港株式会社
ホテルオークラ東京
NTTグループ
山崎製パン株式会社

創価学会

高野山真言宗 総本山金剛峯寺
学校法人昭和女子大学
国立大学法人長崎大学
※一部抜粋 順不同